

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【公開番号】特開2007-47803(P2007-47803A)

【公開日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-007

【出願番号】特願2006-238248(P2006-238248)

【国際特許分類】

G 0 2 C 7/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 C 7/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年11月15日(2010.11.15)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

結膜圧力を低減する設計を含むレンズ本体を含み、該レンズ本体が、結膜上皮フラップの発生を低減するのに有効である

ことを特徴とするコンタクトレンズ。

【請求項 2】

前記レンズ本体は、シリコーンヒドロゲル材料を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 3】

球面又は非球面コンタクトレンズであることを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 4】

回転的に安定化したコンタクトレンズであることを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 5】

円環コンタクトレンズであることを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 6】

前記レンズ本体は、等厚のゾーンを含むことを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 7】

前記レンズ本体は、丸みを付けた縁部表面を含む周縁領域を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 8】

前記レンズ本体は、低減した矢状深さを有することを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 9】

前記レンズ本体は、二重曲率表面を有する後面を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 10】

前記レンズ本体は、該レンズ本体の中心寄りの領域よりも大きな可撓性を有する周縁領域を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 11】

前記レンズ本体は、接触面積を低減した周縁を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 1 2】

前記レンズ本体の周縁は、複数の溝を有することを特徴とする請求項 1 1 に記載のレンズ。

【請求項 1 3】

前記レンズ本体は、丸みを付けた後縁表面を備えた周縁と、 1.5 MPa よりも大きくない弾性率と、 3.65 mm 未満の矢状深さとを含む球面シリコンヒドロゲルレンズ本体であることを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 1 4】

前記レンズ本体は、丸みを付けていない周縁と、 120 barrier よりも大きい酸素浸透率と、 1.1 MPa よりも大きい弾性率と、 3.5 mm 未満の矢状深さとを含む球面シリコンヒドロゲルレンズ本体であることを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 1 5】

前記レンズ本体は、丸みを付けていない周縁と、約 70 barrier から約 120 barrier の酸素浸透率と、約 0.4 MPa から約 1.1 MPa の弾性率と、 3.8 mm 未満の矢状深さとを含む球面シリコンヒドロゲルレンズ本体であることを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 1 6】

前記レンズ本体は、丸みを付けていない周縁と、 70 barrier 未満の酸素浸透率と、 1.5 MPa よりも大きくない弾性率と、 3.7 mm 未満の矢状深さとを含む球面シリコンヒドロゲルレンズ本体であることを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 1 7】

前記レンズ本体は、二重曲率後面と、周縁と、該周縁から測定した 1.5 mm 未満の半弦直径とを含む球面シリコンヒドロゲルレンズ本体であることを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 1 8】

前記レンズ本体は、丸みを付けた周縁表面を備えた周縁と 3.65 mm 未満の矢状深さとを含む非球面シリコンヒドロゲルレンズ本体であることを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ。

【請求項 1 9】

結膜圧力が低減するようにレンズを設計する段階を含み、該レンズ本体が、結膜上皮フラップの発生を低減するのに有効であることを特徴とする、コンタクトレンズを生成する方法。